

2023年1月17日

## 【加茂市内初】発生するCO<sub>2</sub>を実質ゼロとみなす カーボンニュートラル都市ガスの供給について ～都市ガスで脱炭素社会の実現に貢献～

北陸ガス株式会社（本社：新潟県新潟市／代表取締役社長：敦井一友）は、株式会社第四北越銀行様とカーボンニュートラル都市ガスの供給に関する契約を締結し、「Nearly ZEB」※認証を取得している同行加茂支店（2023年1月23日（月）新築移転予定）に、カーボンニュートラル都市ガスを供給いたします。これにより、同支店のガス空調「ガスヒートポンプエアコン（GHP）」等で使用する都市ガスの全量が、カーボンニュートラル都市ガスとなります。当社が加茂市内でカーボンニュートラル都市ガスを供給するのは、本件が初めてとなります。

### <カーボンニュートラル都市ガスとは>

カーボンニュートラル都市ガスは、天然ガスの採掘から燃焼に至るまでの工程で発生する温室効果ガスを、CO<sub>2</sub>クレジットで相殺（カーボン・オフセット）することにより、この都市ガスを使用しても発生するCO<sub>2</sub>が実質的にゼロとみなされます。



出典：日本ガス協会HP

2050年の脱炭素社会の実現を目指す日本では、2030年度までに2013年度比で温室効果ガスを46%削減、さらには50%削減の高みに向けて挑戦を続ける方針が示され、CO<sub>2</sub>排出量削減の取り組みが強く求められています。そうした状況下において、化石燃料の中でCO<sub>2</sub>の排出量が最も少ない天然ガスへの燃料転換に加えて、CO<sub>2</sub>の排出量が実質ゼロとみなせるカーボンニュートラル都市ガスの導入はCO<sub>2</sub>の大幅な削減に寄与します。

当社では、今後も「カーボンニュートラル都市ガス」の普及促進に取り組み、お客さま先におけるCO<sub>2</sub>削減を通じて、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

※Net Zero Energy Building（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の略称で、快適な室内環境を実現しながら、省エネルギー設備や創エネルギー設備の導入により、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目的とした建物。エネルギー消費量の削減率に応じて3段階に分類される。

『ZEB』：100%以上、Nearly ZEB：75%以上、ZEB Ready：50%以上

（詳細は第四北越銀行様リリース資料：[https://www.dhbk.co.jp/news/1201324\\_2128.html](https://www.dhbk.co.jp/news/1201324_2128.html)）



北陸ガス株式会社は、SDGsの達成に向けて積極的に取り組んでおり、SDGsの達成に関連するプレスリリースには、「SDGsの目標アイコン」を明示しております。

<お問い合わせ先>北陸ガス株式会社 企画グループ 担当 笹川

TEL：025-245-2214 e-mail:yoouchi@hokurikugas.co.jp